

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、10月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「新世代ネットワーク」については、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■新世代ネットワークと言いつつも、IPネットワークのみのように感じます。確かにIP通信への統合が進んでいるようですが、本当にそれだけでよいのでしょうか？モノカルチャーの危険を感じます。学会としての、新しい提案が求められていると思います。(匿名希望)

■非常に広い範囲にわたることを特集されており、理解することに難解さを感じながらも興味深く読ませていただきました。「社会システムに組み込まれたネットワーク共同体を目指すのが、新世代であり日本型NGNである」という考えには、面白さを感じました。(平島大志郎)

■タイムリーな話題であり、内容も多岐に渡り、大変に参考になった。内容についてはもう一度じっくりと読み直したい。(匿名希望)

■「NGN」は言葉だけ流通していて、実態がよく分からなかったの、待ってましたの特集でした。(根津芳香)

■記事「世界のキャリアが取り組むNGN(Next Generation Network)の技術的要素」では、世界の通信事業者における技術動向がよく分かり、大変参考になりました。(菊地 誠)

■記事「新世代ネットワークとインターネット」の今後の展望では、「新世代ネットワークとは、情報を媒体として『知』を流通させるためのネットワークである」と述べています。これはまさに、ネットワークの価値の真髄かと思います。(鹿島鉄雄)

■「新世代ネットワークとインターネット」は、図に沿って順次丁寧に説明されていました。とても分かりやすく、読みやすかったです。(匿名希望)

■「新世代ネットワークとインターネット」は、新世代ネットワークの方向性について分かりやすく解説しており、参考になりました。(匿名希望)

■「新世代ネットワークによって変わる社会」は、社会環境の変化を含め幅広く考察されており、ネットワークの

将来像を考える上で大変参考になりました。(匿名希望)

解説「モバイルセキュリティを強化したシンクライアントソリューション」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■運用状況の評価としてネットワーク負荷のみを取り上げているが、それでは不十分だと思う。ユーザの立場からは、キーボードを押してから画面に表示されるまでの時間など、プレゼンテーション時の反応の方が重要である。とくに、携帯電話接続では、まだまだ使い勝手は悪い。セキュリティと使い勝手の両面からの評価が大切ではなからうか。(匿名希望)

■日立がいち早くこのシステムを導入したことを一般紙で読み、詳しい内容を知りたいと思っていた。セキュリティは、頭を悩ます問題である。仕事の効率性とセキュリティ確保の両立は、今後ますます重要になるだろう。(匿名希望)

連載「ナレッジマネジメント『知識資産の経営』」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■ナレッジマネジメントとソーシャルネットワークの関係性について漠然と考えていたのですが、本稿でそれを見事に関係付けていただきました。(匿名希望)

■ブロガーの例で、ネットワークの中において知識資産がcapitalizeされているから自分が豊かになっていると感じている、との考えは非常に面白く思いました。またさまざまな企業での知識経営における「場」のデザインの成功例を知りたく思いました。(平島大志郎)

■最近ナレッジマネジメントについての講演をいくつか聴く機会があったが、事前にこの記事を読んでいたことでよく理解することができた。その演者もダイナミックな知識資産の重要性を力説しており、通じるところがあった。これからの企業が生き残れるかはこの知識をいかに企業内で共有、活用し、ひいては創出していかにかかっているかを痛感した。(匿名希望)

コラム「オープンソース事情『巨大オープンソースプロジェクト—Mozilla Japanの挑戦—』」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■Webブラウザは、きわめて一般的なアプリケーションです。オープンソースのWebブラウザの代表である、Mozillaについて開発者サイドからの平易な解説が、たいへん参考になりました。(水野光朗)

■オープンソースに対する参加のモチベーションが遅れている情報系技術者に対して、本業の合間に気軽に参加できる環境づくりを述べられていましたが、その具体的な取り組み例や今後の展望について知りたく思いました。この点を情報系技術者が広く認知することは、日本の情報技術の発展において非常に大切なことだと思います。(平島大志郎)

■通史が分かりやすく示されており、よい頭の整理になった。
(匿名希望)

報告「国際情報オリンピック参加記」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■国際情報オリンピックという大会の存在を初めて知りました。このほかにも学生が主体になっている大会はたくさんあるのですから、たとえば高校生・高専生といった特に若い世代の大会紹介をしてもよいのではないのでしょうか。
(匿名希望)

■選手の皆さん、優秀な成績をおさめられ、おめでとうございます。そして、選手団を献身的にサポートされた先生方、大変お疲れ様でした。日本は技術立国を目指すと言っているわけですから、このような活動には国をあげて支援して欲しいと思います。
(匿名希望)

■数学オリンピックは知られているのに、情報オリンピックは聞いたことがないと思っていたら、日本から十年ぶりの参加と知り納得。今後は日本から積極的に選手を送っていただき、将来の日本の情報科学の発展を願いたい。
(匿名希望)

その他の記事につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■連載「これからの情報処理学会『これからの情報処理学会』」について：記事に述べられているように、「現代と未来の情報処理社会をリードする分野に進出する」ことは重要だと思います。その考え方からいっても、特集記事の執筆にあつては、専門家を中心として執筆されるのは当然としても、分野外から見た当該トピックの解釈を取り込み、積極的に意見の交流を促すことはできないものかと思います。
(平川正人)

■連載「グリッドと SOA からみる Web サービス標準技術『WS-Addressing と WS-ResourceFramework - 状態を持つリソースを、状態を持たないサービスでどう扱うか?』」について：WS-Addressing と WS-ResourceFramework が非常によく理解できました。サーバからクライアントへコネクションを張りなおす非同期メッセージングについて言及されていましたが、非常に興味深く思いました。
(平島大志郎)

■「編集室」に記載されていたエディタの新 麗さんの「自分あるいは技術の 5 年後、10 年後ではなく、(新しく生まれた) 子供が 5 歳、10 歳になったときと考えると、また違った視点で将来を思い描ききっかけになる」というのは、より血の通った素敵な視点から技術を見る方法だと思いました。
(岩本茂子)

会誌の内容や今後取り上げて欲しいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■京速コンピュータの現状と大学情報基盤センタのスーパーコンピュータに関する今後の取り組みについて、取り上げてほしい。
(匿名希望)

■携帯電話の MNP (番号ポータビリティ) のシステムの側面について、情報処理の専門的な技術解説を読みたいと思います。一般的な新聞や雑誌では、技術的な解説がほとんどなされていないので、興味があります。
(水野光朗)

■実践的ソフトウェア教育を支える FD プログラムの特集を希望します。
(黒田幸明)

■情報漏洩防止技術の小特集をお願いしたい。
(匿名希望)

【本欄担当 酢山明弘, 河辺義信/書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>> に掲載していますので、そちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後よりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

✎ ご意見をお寄せください!!

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については <URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>> でこれからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。<URL:<http://www.ipsj.or.jp/somu/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F 情報処理学会 会誌編集部門
E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4801.html>



IPSJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2007年				
	論文誌「ゲームプログラミング」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08edit/journal/tokushu/07-J.html	1月19日(金)		
	平成18年度長尾真記念特別賞候補者推薦募集 http://www.ipsj.or.jp/03somu/nagao/h18boshu.html	1月19日(金)		
	平成19年度会誌モニタ募集のお知らせ http://www.ipsj.or.jp/07editj/topic/h19monitor.html	2月28日(水)		
	論文誌「次世代社会基盤をもたらす高度交通システムとモバイル通信システム」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08edit/journal/tokushu/08-D.html	3月31日(土)		
	論文誌「インタラクションの理解とデザイン」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08edit/journal/tokushu/07-F.html	3月31日(土)		
	論文誌「人間中心のユニバーサル/ユビキタス・ネットワークサービス」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08edit/journal/tokushu/08-C.html	4月6日(金)		
	論文誌「情報爆発時代のネットワークサービス」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08edit/journal/tokushu/08-G.html	5月11日(金)		
	論文誌「社会的課題に挑む情報システム」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08edit/journal/tokushu/08-E.html	5月15日(火)		
	論文誌「新しいパラダイムの中での分散システム/インターネット運用・管理」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08edit/journal/tokushu/08-F.html	5月28日(月)		
	論文誌「イノベーションプロセスのスタディ」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08edit/journal/tokushu/08-H.html	6月30日(土)		
1月15日(月)～	SAINT2007 The 2007 Symposium on Applications and the Internet http://infonet.cse.kyutech.ac.jp/conf/saint07/	7月1日(土)		広島国際会議場
1月17日(水)～	2007年ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学シンポジウム (HPCS2007) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/S-HPCS2007.html			つくば国際会議場
1月17日(水)～	第128回システムLSI設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/SLDM128.html	11月10日(金)	当日のみ	慶應義塾大学 日吉キャンパス
1月18日(木)	東海支部主催講演会「ユニ卵黄タンパク質の研究とICT」 http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/		参加費無料(参加資格は問いません)	愛知県立大学学術文化交流センター小ホール
1月18日(木)～	第22回高品質インターネット研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/QAI22.html		当日のみ	広島国際会議場
1月18日(木)～	第62回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/PRO62.html	11月10日(金)	当日のみ	メルバルク沖縄
1月19日(金)	高度交通システム2007シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/S-ITS2006.html	1月12日(金)	定員になり次第	日本科学未来館
1月22日(月)～	第163回計算機アーキテクチャ・第3回組込みシステム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/ARC163EMB3.html	11月24日(金)	当日のみ	慶應義塾大学 日吉キャンパス
1月23日(火)	第110回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/AL110.html	11月23日(木)	当日のみ	電気通信大学
1月23日(火)～	Asia and South Pacific Design Automation Conference 2007 (ASP-DAC2007) http://www.aspdac.com/aspdac2007/	7月10日(月)		パシフィコ横浜
1月25日(木)	ソフトウェアアジアパン2007 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/forum/software-j2007/cfpar.html		1月18日(木) 当日可	タワーホール船堀
1月25日(木)～	ウインターワークショップ2007・イン・那覇 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/SEW2007.html			ホテルオーシャン, 他
1月25日(木)～	第141回データベースシステム・第62回グループウェアとネットワークサービス・第16回放送コンピューティング研究グループ合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/DBS141GN62.html	11月24日(金)	当日のみ	メープル有馬 (神戸市有馬温泉)
1月26日(金)	北陸支部主催研究講演会「次世代ネットワークNGNの最新動向とそのインパクト」 http://www.ipsj.or.jp/sibu/hokuriku/index.html		参加費無料・学会員以外の方も参加可能	富山県立大学 (富山県射水市)
1月26日(金)	第59回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/DD59.html	11月22日(水)	当日のみ	九州大学 伊都キャンパス
1月26日(金)～	第177回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/NL177.html	11月15日(水)	当日のみ	筑波大学春日キャンパス
1月27日(土)	第73回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/CH73.html	11月24日(金)	当日のみ	総合研究大学院大学
1月29日(月)	平成18年度短期集中セミナー「組込みシステム技術の展望」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/shortseminar/2006/emb.html		1月22日(月) 定員になり次第	化学会館7Fホール
1月30日(火)～	第104回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/OS104.html	12月1日(金)	当日のみ	立命館大学 びわこ・くさつキャンパス エボック立命
2月7日(水)	東海支部主催講演会「量子誤り訂正符号の構成法」 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html		参加費無料(参加資格は問いません)	愛知工業大学 本山キャンパス
2月9日(金)～	第122回ヒューマンインタフェース・第65回音声言語情報処理合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/HI122SLP65.html	12月15日(金)	当日のみ	ニュー八景園(伊豆長岡温泉)

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2月16日(金)	北陸支部主催研究講演会「ブログマイニング: ブログから社会の何が見えてくるのか」 http://www.ipsj.or.jp/sibu/hokuriku/index.html		参加費無料・学会員以外の方も参加可能	インテック本社タワー111ビル
2月16日(金)～	第88回コンピュータと教育研究発表会	12月18日(月)	当日のみ	一橋大学
2月17日(土)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/CE88.html			
2月19日(月)～	第126回グラフィクスとCAD研究発表会		当日のみ	新宿三井ビル
2月20日(火)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/CG126.html			
2月22日(木)～	第40回モバイルコンピューティングとユビキタス通信・第13回ユビキタスコンピューティングシステム合同研究発表会	12月17日(日)	当日のみ	秋葉原ダイビル
2月23日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/MBL40UBI13.html			
2月23日(金)	第69回音楽情報科学研究発表会	12月22日(金)	当日のみ	津田塾大学
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/MUS69.html			
3月1日(木)～	第164回計算機アーキテクチャ・第109回ハイパフォーマンスコンピューティング合同研究発表会 (HOKKE-2007)	12月20日(水)	当日のみ	北海道大学
3月2日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/ARC164HPC109.html			
3月1日(木)～	第130回マルチメディア通信と分散処理・第36回コンピュータセキュリティ合同研究発表会	1月12日(金)	当日のみ	九州産業大学
3月2日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/DPS130CSEC36.html			
3月4日(日)	第63回数値モデル化と問題解決研究発表会	1月5日(金)	当日のみ	ホテル大観荘
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/MPS63.html			
3月5日(月)	第8回バイオ情報学研究発表会		当日のみ	大阪大学 豊中キャンパス
	http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/sighp/bio/index.html			
3月5日(月)	第17回ゲーム情報学研究発表会	1月12日(金)	当日のみ	デジタルハリウッド大学
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/GI17.html			
3月5日(月)～	第56回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会	1月13日(土)	当日のみ	沖縄セルラー電話(株)
3月6日(火)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/AVM56.html			
3月6日(火)～	第69回全国大会		2月9日(金)	早稲田大学 理工学部 (大久保キャンパス)
3月8日(木)	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/69kai/index.html			
3月9日(金)	第44回分散システム/インターネット運用技術研究発表会	1月19日(木)	当日のみ	筑波大学
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/DSM44.html			
3月9日(金)	第111回アルゴリズム研究発表会	1月9日(火)	当日のみ	鹿児島大学 郡元キャンパス
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/AL111.html			
3月14日(水)～	第99回情報システムと社会環境研究発表会	12月22日(金)	当日のみ	専修大学 神田キャンパス
3月15日(木)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/IS99.html			
3月14日(水)～	第147回知能と複雑系研究発表会	1月19日(金)	当日のみ	北海道(ルスツリゾート)
3月16日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/ICS147.html			
3月15日(木)～	ネットワーク生態学研究グループ第3回シンポジウム			中央大学・ 後楽園キャンパス
3月16日(金)	http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/NetEcoG_top.html			
3月15日(木)～	インタラクシオン2007	10月26日(木)		学術総合センター/ 一橋記念講堂
3月16日(金)	http://www.interaction-ipsj.org/			
3月16日(金)	第20回システム評価研究発表会	1月20日(土)	当日のみ	日本IBM高松事業所
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/EVA20.html			
3月17日(土)	第35回電子化知的財産・社会基盤研究発表会	1月15日(月)	当日のみ	近畿大学大阪コミュニティカレッジ
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/EIP35.html			
3月19日(月)～	第158回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会	12月26日(火)	当日のみ	鹿児島大学
3月20日(火)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/CVIM158.html			
3月22日(木)	第63回グループウェアとネットワークサービス研究発表会	1月15日(月)	当日のみ	神奈川工科大学
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/GN63.html			
3月22日(木)～	第63回プログラミング研究発表会	1月22日(月)	当日のみ	東京工業大学大岡山キャンパス
3月23日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/PRO63.html			
3月27日(火)	第86回情報学基礎・第60回デジタルドキュメント合同研究発表会	1月27日(土)	当日のみ	化学会館会議室 (御茶ノ水)
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/FI86DD60.html			
9月5日(水)～	FIT2007 第6回情報科学技術フォーラム			中京大学 豊田キャンパス
9月7日(金)				

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

■ 11月27日 短期集中セミナー「組込みシステム技術の展望」参加申込受付開始

[学会からのお知らせ]

■ 12月20日 長尾真記念特別賞候補者推薦募集中(締切1月19日)

■ 12月5日 平成18年度業績賞候補者推薦募集: 推薦締切を12月20日(水)まで延長しました

■ 11月30日 平成18年度論文賞候補論文推薦のお願い

■ 11月22日 「人間中心のユニバーサル/ユビキタス・ネットワークサービス」特集の論文募集

人材募集 (有料会告)



申込方法：任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿〔募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先〕を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限：毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

掲載料金：国公立教育機関、国公立研究機関 21,000円(税込)

賛助会員(企業) 31,500円(〃)

賛助会員以外の企業 52,500円(〃)

*本誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本誌Webページに掲載できます。

申込先：情報処理学会 会誌編集部門(有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■(株)豊田中央研究所

募集人員 (1)正社員 1名

(2)～(5)客員研究員 各1名(最長3年間の契約、1年ごとの更新)

職務内容 (1)自動車の予防安全システムに関する研究開発 (2)運転行動の数理モデリングに関する研究 (3)高齢ドライバーの認知・判断機能に関する研究 (4)走行環境の認識・理解に関する研究 (5)自動車におけるアンテナ技術、通信制御技術、暗号・符号化技術に関する研究

応募資格 (1)職務内容の分野において関心を有する修士以上の方 (2)パターン認識、信号処理、制御工学のいずれかで研究経歴を有すること (3)医用工学、人間工学の分野に関連する研究経歴を有すること (4)情報、数理、電子の分野に関連する研究経歴を有すること (5)電子、通信、情報工学の分野のいずれかで研究経歴を有すること

着任時期 平成19年4月1日以降

提出書類 応募職種・職務内容を明記の上、次の書類をお送りください：履歴書、職務歴(研究実績)、論文リスト、主要論文別刷(コピー可)

応募締切 平成19年3月31日(必着)

送付先/照会先 〒480-1192 愛知県愛知郡長久手町大字長湫字横道41-1 (株)豊田中央研究所 総務部人事課 羽田、高野、宮崎
E-mail:saiyo@mosk.tytlabs.co.jp Tel(0561)63-6509 Fax(0561)63-5744

その他 Webページ (<http://www.tytlabs.co.jp/>)



FIT2007 第6回情報科学技術フォーラム 査読付き論文・一般論文 発表募集案内

FIT2007 公式サイト <http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2007/>

査読付き論文受付期間(予定) : 2007年3月12日(月)~4月26日(木)
一般論文 受付期間(予定) : 2007年5月1日(月)~6月1日(金)

会期 : 2007年9月5日(水)~7日(金)
会場 : 中京大学 豊田キャンパス (愛知県豊田市貝津町床立101)

○論文ページ数 : 2~4ページ ○講演時間 : 20分
※3ページ目以降はエキストラページ料金(3,000円/ページ)が必要です

情報処理学会(IPSJ)と電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ(ISS)並びにヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)とは、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム(FIT: Forum on Information Technology)」を開催しており、2007年9月には第6回目を中京大学で開催します。

本フォーラムは、IPSJ 全国大会と ISS ソサイエティ大会との流れを汲むものですが、従来の大会の形式にとらわれずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきており、前回のFIT2006では762件の論文発表が行われました。

皆様の研究成果発表の場として、標記のとおり論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。

●申込み主要日程(予定)

※査読付き論文と一般論文では、登録申込/投稿受付開始時期が異なりますのでご注意ください。

■査読付き論文

登録申込/投稿受付開始 : 平成19年3月12日(月)
登録申込〆切り/査読用原稿の投稿〆切り :
平成19年4月26日(木)
査読の採否結果通知 : 平成19年6月25日(月)
カメラレディ投稿〆切り : 平成19年7月6日(金)

■一般論文

登録申込/投稿受付開始 : 平成19年5月1日(火)
登録申込〆切り : 平成19年6月1日(金)
カメラレディ投稿〆切り : 平成19年7月6日(金)

※登録申込と原稿投稿は、すべてWebを通じて行って頂きます。下記のFIT2007公式サイトからお願い致します。

※登録申込、原稿投稿要領の詳細は、決定次第 FIT2007 公式サイトでお知らせ致します。

●査読付き論文

査読付き論文は、FIT 設立に伴い新たに導入された企画です。

採録論文は「情報科学技術レターズ(Information Technology Letters)」として独立した講演論文集に掲載します。査読者や読者に研究内容が十分に伝わるように、最大4ページに緩和された論文ページ数を活用して下さい。また、採録された論文の中から、査読会議において各分野の応募総数の5%を上限として優秀な論文を推薦し最終的に10件程度の論文を選定します。選定された論文は、FITの初日に行われるFIT論文賞セッション(船井ベストペーパー賞選考会)において発表を頂き、その中から船井ベストペーパー賞3件、FIT論文賞7件程度を選定いたします。船井ベストペーパー賞受賞論文には船井情報科学振興財団より賞金20万円、FIT論文賞受賞論文にはFIT推進委員会より賞金5万円を贈呈します。皆様、是非ともチャレンジして下さい。

なお、査読付き論文に投稿されて不採録となった場合には、一般論文として扱います。

※査読を申し込まれた論文につきましては、講演を取り消された場合でも講演参加費はお支払い頂きますのでご了承下さい。

※一部の研究会では査読付き論文の募集を致しません。査読付き論文の募集を行う研究会については、Webページをご覧ください。

※FIT情報科学技術レターズに掲載された論文は、学会論文誌に掲載されているレター、テクニカルノート、ショートペーパー、研究速報等と同じ位置付けとなります。

●一般論文

当該FITでの発表件数の1.5%を上限として、2007年12月31日現在で33歳未満の講演者(査読付き論文および一般論文)を対象に優れた発表を選定しヤングリサーチャー賞(賞金3万円)を贈呈します。

●問合せ先

101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

社団法人 情報処理学会 事業部門 TEL. 03-3518-8373 FAX. 03-3518-8375 e-mail: jigyo@ipsj.or.jp



マルチコアプログラミングコンテスト「Cellスピードチャレンジ2007」

主催：情報処理学会 計算機アーキテクチャ研究会、組込みシステム研究会、ハイパフォーマンスコンピューティング研究会
協賛：(株)東芝セミコンダクター社、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント、日本アイ・ビー・エム株式会社

昨年度からCell Broadband Engine™ (Cell BE)に関する情報が本格的に公開され始め、その高いピーク性能、独特のアーキテクチャ、将来性などから高い注目を集めています。この動向は、例えば、SACSIS2006におけるCell BEのチュートリアルの人気を見ても明らかになっています。また、2006年の11月にはPS3が発売され、Cell BEに対する注目度は更に高まっています。

Cell BEは、1個の汎用CPUコアと、SIMD構成の独特のコア(SPE)を8個搭載する並列システムとなっています。Cell BEの高い性能を引き出すために重要となるSPEにおいては、動的な分岐予測を排除してソフトウェアのヒントを必要とする点や、キャッシュを排除して効率的なDMA転送を必要とする点などにおいてプログラマにとって挑戦的なアーキテクチャとなっています。また、SIMD化や8コアを用いた効率的な並列化の手法も欠かせません。

情報処理学会 計算機アーキテクチャ研究会、組込みシステム研究会、ハイパフォーマンスコンピューティング研究会の主催により、先進的計算基盤システムシンポジウムSACSIS2007の併設企画として、このような挑戦的なアーキテクチャを持つCell BEを対象とするマルチコアプログラミングコンテストを開催することとなりました。

【参加方法】

参加者はチームを構成して、規定課題部門、自由課題部門あるいは両方に登録することができます。ただし、同一の参加者が規定課題部門の複数のチームに所属することはできません。1チームの人数は制限しません。1チーム1名としての参加も歓迎します。1チームに対して1つのCellオンラインのアカウントを提供します。優秀者はSACSIS2007にて表彰予定です(豪華賞金等についても検討中です)。規定課題部門では、Cell BEを用いて規定の課題をどれだけ高速に解くことができるかを競います。自由課題部門では、Cell BEを利用してこれに興味を持つ人々で結果を共有できる興味深い実験や、既存のアプリケーションの移植(ポーティング)、プログラミングを容易にするツールの実装など、参加者が自由に課題を設定して取り組んでいただきます。

【規定課題部門および自由課題部門に共通の参加資格】

- ・チームの全メンバが株式会社東芝の提供するCell Users' Group会員規約、Cell Users' Groupコミュニティボード利用規約、Cellオンライン利用規約のすべてに同意していただける方
- ・2-4ページのドキュメントを公開資料としてご提供いただける方
- ・成績優秀者として登壇発表を依頼されたときに、SACSIS2007に参加して登壇発表を行うことができること(やむをえない事情を除く)
- ・成績優秀者として登壇発表をおこなった際の発表スライドを公開資料としてご提供いただける方

【規定課題部門に適用される参加資格】

- ・GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2に基づいてソースコードを公開資料としてご提供いただける方
- ・チームの全メンバが、高校、高専、大学、大学院またはこれに準ずる学校の学生であること
- ・同一の参加者が規定課題部門の複数のチームに所属しないこと

【その他注意事項】

- ・自由課題部門への参加資格は学生に限定しません。大学の教員、企業の開発者の方などの参加も歓迎します。
- ・自由課題部門の参加者にはコンテストの成果をSACSIS2007ポスターセッションにおいて発表していただきます。規定課題部門の成果をSACSIS2007ポスターセッションにおいて発表することを奨励します。
- ・自由課題部門において開発したソースコードの提供が必要という訳ではありませんが、是非、ソースコードの提供(公開)をご検討ください。
- ・Cellオンラインサービスのシステムサポートは平日の8時間のみとなります。コンテスト期間中にシステム障害が発生したとしても迅速な対応ができない場合がありますことをご了承ください。
- ・参加方法等は変更されることがあります。Cellスピードチャレンジ2007のホームページにて最新の情報をご確認ください。
<http://www.hpcc.jp/sacsis/2007/cell-challenge>



【規定課題概要】

多数のデータの系列が入力として与えられたときに、これらのある順序にしたがって並び替える処理をソーティングと呼びます。Cellスピードチャレンジ2007の規定課題は「ソーティング」です。

ソーティングでは、データに含まれる並べ替えのために参照される項目をキーと呼びます。このキーは単精度の浮動小数点数(C言語におけるfloat型)とします。また、キーの値が昇順(小さい値が前方、大きい値が後方になるような順序)になるようにデータを並び替えるものとします。

たとえば、高校などの学籍名簿のn個のデータ系列(A1, A2, ..., An)を、学籍番号順に(学籍番号をキーとして)並び替える処理を考えます。各データAiは、学籍番号の他に、その番号を持つ学生名や入学年月日などの情報をもつかもかもしれません。ソーティングはこれらのAiを学籍番号の小さい順に並び替えるという処理です。

【重要日程(予定)】

2007/02/02(金)	参加受付の締切
2007/02/09(金)	規定課題詳細およびツールキットの公開
2007/02/09(金)	規定課題 予選ラウンド開始
2007/03/09(金)	規定課題 予選ラウンド終了、プログラム等の提出
2007/03/09(金)	自由課題 終了、ドキュメントの提出
2007/03/14(水)	規定課題 決勝ラウンド開始
2007/03/28(水)	規定課題 決勝ラウンド終了、プログラム等の提出
2007/05/23(水)-25(金)	SACSIS2007 学術総合センター講堂

アドバイザー委員会

朴泰祐 (筑波大学)
高田広章 (名古屋大学)
天野英晴 (慶應義塾大学)
中島浩 (京都大学)

実行委員会

中村宏 委員長(東京大学)
吉瀬謙二 副委員長(東京工業大学)
井上弘士 (九州大学)
合田憲人 (東京工業大学)
富山宏之 (名古屋大学)
追川修一 (筑波大学)
中田秀基 (産業技術総合研究所)
光来健一 (東京工業大学)
高橋大介 (筑波大学)

片桐孝洋 (電気通信大学)
菅原豊 (東京大学)
大津金光 (宇都宮大学)
木村啓二 (早稲田大学)
近藤正章 (東京大学)
吉見真聡 (慶應義塾大学)
福田悦生 (株)東芝セミコンダクター社
近藤伸宏 (株)東芝セミコンダクター社
山崎剛 (株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント)
瀧塚博志 (株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント)
川瀬桂 (日本アイ・ビー・エム株式会社)

“Cell Broadband Engine”は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標です。

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集、参加案内等）の本誌掲載については、下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議、シンポジウム、ワークショップ、講演会、講習会などの論文募集・参加者募集	1ページ、1/2ページまたは 1/4ページ	（主催・共催）	
			1ページ	52,500円
			1/2ページ	31,500円
			1/4ページ	21,000円
			（協賛）	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関、国公立研究機関、 企業の人材募集	10行程度	国公立教育機関、国公立研究機関	21,000円
			賛助会員（企業）	31,500円
			賛助会員以外の企業	52,500円
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。	

■申込方法

任意の用紙に、件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し、掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

●行事次第書：

A4判カメラレディまたはPDFファイル（フォント埋め込み）とします。

（1ページ） 天地 260mm × 左右 175mm

（1/2ページ） 天地 130mm × 左右 175mm

（1/4ページ） 天地 65mm × 左右 175mm

* A4判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

●人材募集：

次の項目を明記し、E-mailまたはFax、郵送にてお送りください。

[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]

* なお、都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

■申込期限

毎月15日を締切日とし、翌月号（15日発行）に掲載します。

■掲載料金

掲載号発行日に料金を請求いたしますので、3カ月以内にお支払ください。

■掲載申込先

（社）情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

◎最新刊

Advanced Information Technology
Spoken Language Systems

A Series Edited by Tadao Saito

Edited by Seiichi Nakagawa, Michio Okada and Tatsuya Kawahara

16cm×24cm判／320頁／本体9,500円(税別) 2005年8月発行

◎好評既刊

Advanced Information Technology
**Communication and Collaboration
Support Systems**

A Series Edited by Tadao Saito

Edited by Kenichi Okada, Tohru Hoshi and Tomoo Inoue

16cm×24cm判／312頁／本体9,500円(税別) 2005年7月発行

Advanced Information Technology
Gigabit Network

Edited by Tadao Saito and Hiroshi Esaki

16cm×24cm判／161頁／本体9,500円(税別) 2003年9月発行



オーム社

101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1
TEL 03(3233)0641 FAX 03(3293)6224

<http://www.ohmsha.co.jp/>
本体価格(税別)は変更する場合があります。



会 員 各 位

過去に発行された当会会員名簿は「会員相互間の連絡や情報交換」を目的としています。

最近この目的をはずれ、「広告、諸勧誘、商取引等の営利活動に不正に利用される」方がおられますが、このような行為は厳重に謹んでください。名簿を廃却される場合にも、再利用されることのないようご注意願います。

また、上記不正利用にあてはまらない場合でも、受け取った相手が不愉快な思いをされないよう、節度を持った利用をお願いいたします。

当会では、現在会員名簿を発行しておりません。



時は平成15年9月上旬のある昼下がり、所は東京板橋の母91歳の家。

「お婆ちゃん、僕だよ僕」「えっ、誰、彰彦」「うん、彰彦だよ。お婆ちゃん、変わらない?」「何もないよ。彰彦は元気かい」「僕は元気だよ、お婆ちゃん変わりなくてよかったね、いつまでも元気でいてね。実はね、ちょっと、交通事故起こしちゃったんだ」「怪我はなかったかい」「僕は大丈夫だけど、相手に怪我させちゃって50万円払わなくちゃいけないんだ。お婆ちゃん、ちょっと貸してくれないかな、後で返すから」「貸してあげたいのは山々だけどね、お婆ちゃん今お金何もないんだよ、ごめんね」「ガチャン」「彰彦、彰彦、どうしたの」ということで声の主は電話を切ってしまいました。

母の話ではお金を持っていたら、銀行から下ろしても渡したに違いないというほど、優しい話し方であったそうです。幸いにしてというか不幸にしてというか、母の預貯金のすべては兄に押さえられていたので、被害には遭わずに済んだのであります。

す。犯人の被害候補者の洗い出し方法は、東京・千葉の電話帳で名前が大正・昭和初期らしい人を選び、家人が不在の昼間電話しているとのこと。ちなみに、母の名前は「たか」でありました。

時は移り場所も変わり、平成18年12月の韓国は雪のソウル明洞の繁華街(この日は学会事務局の社員旅行でした)。「社長、昨日の運転手です」と明るく声で突然話し掛けてきた中年の男性にたじろぐ私。必死で記憶を振り返るもチャミスルとマッコルリで濁った頭はとうの昔に「君の名は」症候群。語り口の上手さについふらふらと男について行ってしまふところを止めてくれたのは同行の職員。

世の中にはオレオレ詐欺の被害者に対し、被害に遭う方にも問題があると言われる方もありますが、詐欺する側の洗練された手口を称えこそすれ、被害者を責めてはいけないと思うのですが、いかがなものでしょうか。

(湖東俊彦/事務局長)

■ 各種問合せ先 ■

(社) 情報処理学会 (本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌(ジャーナル)の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌(トランザクション)
■ 事業部門			
事 業/国 際	jigy@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム、国際会議、IFIP委員会
■ 管理部門			
総 務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJメールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

書評・会議レポート募集のお知らせ

情報処理学会会誌編集委員会では、会誌「情報処理」に掲載する書評、および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています。

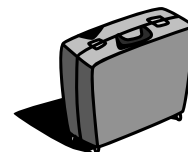
1. 募集対象

次の2種類の記事について、原稿を募集します。

- a) 書評：過去2年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
- b) 会議レポート：情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。

2. 応募資格

原則として本学会員に限ります。



3. 応募の手続き

- 1) 表題：書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBNを書く。
会議レポートは、見出しを書く。書評、会議レポートの別を左肩に書く。
- 2) 評者名（会議レポートの場合は筆者名）・所属・評者連絡先（住所、E-mail、Faxなど）の記載を忘れずに。
- 3) 本文：書評、会議レポートとも2,100字前後で書く。
- 4) （必要であれば）参考文献、付録、図、表をつける。
詳しくは「原稿執筆案内」（<http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/shippitsu/kaishi.html>）を参照してください。

4. 原稿の取扱い

投稿された原稿は会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。

5. 照会／応募先

（社）情報処理学会 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp

会員サービスのご案内

会員の皆様に特典としてご利用いただける各種サービスをご案内いたします（本会 Web ページ：<http://www.ipsj.or.jp/06mem/kaiin/service-ta.html> 参照）。会員特典等にご意見ご要望等がございましたら事務局会員サービス部門（E-mail:mem@ipsj.or.jp）までお寄せください。

◆ ホテル（10～53%割引）

サンルートホテル、チサンホテル、ホテル法華クラブ、JR ホテルグループ、東急ホテルズ、プリンスホテル、第一ホテルチェーン、JR 東日本ホテルチェーン、ガーデンホテルズ、三井観光グループ／ホテル、全日空ホテルズ、都ホテルズ&リゾーツ、ホテル京急グループ、ダイワロイヤルホテルズ、エイチアールエヌ、ウィクリーマンション東京

◆ レンタカー（10～48%割引）

ニッポンレンタカー、日産レンタカー、マツダレンタカー

◆ パック旅行（3～7%割引）

ジェイティービー、日本旅行、近畿日本ツーリスト、東急観光、京王観光、ジャルパックサービス、エンターティメントエクスプレス

◆ その他（書籍・コンピュータソフト割引販売、レンタルオフィス）

UC 丸善アカデミックカード、バーシティウェブ（教育機関所属の方はアカデミック価格で）、デスカット、日本工業技術振興協会

情報処理学会の会員になりませんか!

www.ipsj.or.jp

社団法人 情報処理学会は、IT に関する専門家集団として 21 世紀情報化社会の発展に向け、学術・文化・産業等の多方面に貢献しています。

情報処理学会は IT 分野の皆様のお役に立ちます。

新規会員
募集中

■活動の概要

- 機関誌（「情報処理」「情報処理学会論文誌」）の発行
- 各種行事の開催（研究発表会、全国大会、情報科学技術フォーラム（FIT）、シンポジウム、連続セミナー他）
- 情報処理教育活動
- 国際交流
- 標準化活動
- 出版活動

■会員になるには

入会金（正会員のみ）と 1 年分の会費をお振り込みの上、入会申込書をお送りください。理事会で承認後会員証（賛助会員除く）をお送りします。情報処理学会の会員は、個人会員と賛助会員から構成されています。

個人会員

正会員：当学会の中心的会員で、IT 分野に携わる個人
学生会員：学校に在学中の個人
準会員：専門外の高校、中小学校等の教職員、地方自治体等に勤務の個人
名誉会員：当学会の活動において特別な功績のあった個人

賛助会員

当学会の活動をサポートする法人



他にも会員向けサービスがたくさんあります。詳細は学会 Web サイトをご覧ください。

■ご入会いただくと、こんな良いことがあります。

1 最新技術を紹介する機関誌「情報処理」が毎月お手元に届きます。

2006年

特集：通信と放送の融合（2月号）、バイオデータベースの今（3月号）
連載：私の情報整理術、オープンソース事情、21世紀へのコンパイラへ道しるべ、他

2 電子図書館（BookPark）で「情報処理」の過去の記事を見ることができます。

3 「連続セミナー」に会員価格（7,000円お得）で参加できます。

時代に即しかつ技術の先進性に富んだ内容をテーマに、その分野の第一線で活躍している講師を招いて年数回にわたり開催しています。2005年度は「組み込みシステム開発の最前線」をテーマに、6回の開催がありました。

4 ホットトピックスに対応する「シンポジウム」（5,000円以上お得）や「研究会」に会員価格で参加できます。

ホット
トピックス

インターネット、Eビジネス、セキュリティ、ユビキタス・モバイル・情報家電・組み込み、ディベンダブルシステム、低消費電力化、リコンフィギャラブルプロセッサ、グリッド、UML・オブジェクト指向・アスペクト指向、エージェント、セマンティックウェブ・XML・データマイニング、マルチメディア、エンタテインメント・バーチャルリアリティ、e-ラーニング、バイオインフォマティクス、バイオメトリクス、量子コンピューティング・DNAコンピューティング、進化的計算・複雑系、ITS、金融工学・経済物理

5 出版図書が会員割引で購入できます。

IT Text シリーズ、英文図書 Advanced Information Technology シリーズ、等

■さらに、学生会員だけの特典です！

6 お好きな研究会を1つ無料で登録できます。

7 IPSJ Digital Courier に論文が掲載されると、船井財団により表彰され賞金ももらえます。

お問い合わせは、(社) 情報処理学会 会員サービス部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp

平成 19 年度会誌モニタ募集のお知らせ

会誌編集委員会

会誌「情報処理」をよりよくするために編集委員一同努力を続けておりますが、会誌についての会員の方々の評価や希望をうかがい、今後の改善に役立てるために、モニタ制度を設けております。

関心のある方はぜひふるってご応募ください。

応募の資格 本会員で、モニタの役割を積極的に果たしていただける方。

モニタの役割 会誌毎号の本誌巻末の所定用紙または学会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) から、毎月アンケートに回答する。

- 記事に対する評価
- 記事に対する感想・意見
- 記事テーマの提案
- そのほか全般的な意見・提案など

注) 会誌の記事をすべて読むといったことは必ずしも必要ではありません。自分の立場や問題意識、得意とする分野などを基準とした「独断と偏見による」自由な意見を期待します。

期 間 原則として 1 年間とします。

対 象 号 会誌 48 巻 4 号～49 巻 3 号

謝 礼 貴重なご意見をいただいた方には薄謝または記念品を贈呈します。

募集人員 特に定めませんが、応募者数によっては当委員会で調整させていただくことがあります。

応募締切 平成 19 年 2 月 28 日 (水) 必着 *申込書を Fax するか、または E-mail でお申し込みください。

申込/照会先 情報処理学会 会誌編集部門 (モニタ係)

平成 19 年度会誌モニタ申込書

宛先：情報処理学会 会誌編集部門 (モニタ係)

E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

氏 名

会員番号 ()

住 所 〒

所 属

E-mail:

Tel () -

Fax () -

年 齢 () 歳

業種：(a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (e) 学生 (f) その他

職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務 (f) 会社経営・役員・管理職
(g) 教官 (大学・大学院) (h) 教職員 (i) 学生 (j) その他

ご意見をお寄せください!

【2月10日頃までにお出しください】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4801.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html

[コード]

1. ご氏名
2. ご所属 Tel. () -
3. E-mail:
4. 業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4-
5. 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5-
6. 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
7. 性別: (a) 男性 (b) 女性 7-
8. あなたはモニタですか?: (a) はい (b) いいえ 8-
9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合:
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9-
10. 今月号 (2007年1月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a...大変参考になった b...よい c...普通, どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]

特集: 安全と安心のための画像処理技術

1. 危険を察知する車載画像処理技術 10-1-
2. 鉄道と乗降客の安全を確保する画像認識技術 10-2-
3. 画像によるエレベータ内異常検知技術 10-3-
4. 画像認識を用いて安心を提供する情報セラピー 10-4-
5. プライバシーを考慮した映像サーベイランス 10-5-
6. 人物を認識することの法的問題点 10-6-
- 第17回全国高専プログラミングコンテスト同行の記 10-7-
- IEEE Computer Society 60周年記念式典報告 10-8-
- IEEE-CS コンピュータ・パイオニア・アワード受賞講演 10-9-
- スーパーコンピュータ SX 開発の思い出 10-10-
- リビングから始めるユビキタス 10-11-
- 標準化よもやま話: ビジネスと国際標準, その合意形成 10-12-
- 「情報学を創る」- 科研プロジェクトがめざしたもの: 発足の経緯とその展開 10-13-
- 「情報学を創る」- 科研プロジェクトがめざしたもの: 新しいソフトウェアの実現 10-14-
- 研究会千夜一夜: データベース 2.0 あるいはデータベースシステム研究会の今 10-15-
- 研究会千夜一夜: 要求工学の勧め 10-16-
- オープンソース事情: 普及手段としての OSS プロジェクト 10-17-
- これからの情報処理学会: 選ばれる論文誌を目指して 10-18-
- これからの情報処理学会: 産学連携と情報処理学会 10-19-
- グリッドと SOA からみる Web サービス標準技術: Web サービスの分散運用管理標準 10-20-

11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。

12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらお書きください。

昨年、国際会議で訪れたバルセロナには、街角にたくさんの監視カメラがあり、ロンドンだけではないのだと驚いた覚えがあります。アメリカへの入国の際には、Webカメラで顔写真を撮られます。また、日本でも店内や駅のホームなどで監視カメラの存在に気付くことが増えました。それだけ安全確保が必要になってきたのだという実感が、今回の画像処理技術に特化した特集企画の動機です。

何回か特集を企画しておりますが、毎回、波乱万丈です。今回は、執筆依頼を引き受けていただいた執筆者と連絡がとれなくなり、1件、没となってしまいました。従来の多くの例から、執筆が遅れているから、メールへの応答もないのだろうと勝手に推測しました。フォローが不十分であったエディタの責任です。申し訳ありません。

(土井美和子/本特集エディタ)

次号(2月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」 社会の未来を拓くネットワーク情報共有空間

情報共有空間における協同/情報共有空間のためのウェアラブルコンピューティング/情報共有空間のためのセンサコンピューティング/情報共有空間のためのシームレスコンピューティング/情報共有空間のための新しいWebの胎動/情報共有空間のためのモバイル/アドホックネットワーク

解説

製品間を横断したソフトウェア共通化技術~ソフトウェアプロダクトラインの最新動向~..... 吉村健太郎
「センサとは何か」ウェブを越えるそのインパクト..... 矢野和男

連載 グリッドとSOAからみるWebサービス標準技術/これからの情報処理学会/「情報学を創る」- 科研プロジェクトがめざしたもの

コラム オープンソース事情/研究会千夜一夜/標準化よもやま話

ITの最新情報、研究発表の場の提供を通じて、あなたのお役に立ちます

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

会員募集中!!

今一番新しい研究分野は何か?

IT時代をリードしたい!

そうだ、情報処理学会に入る!



申込/照会先 社団法人 情報処理学会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp

複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません(社外頒布用の複写は許諾が必要です)。

権利委託先: (中法) 学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。
Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

E-mail: info@jaacc.jp

Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

掲載広告カタログ・資料請求用紙

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 社団法人情報処理学会
 発行部数 30,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 (株)精機通信社 (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*左記料金はポジフィルム納入による料金です。
 *版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *断切広告は上記料金の10%増です。ただし、表4は不可。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）(株)精機通信社宛にご請求ください。

■「情報処理」 48巻1号 掲載広告（五十音順）

- | | | | |
|----------------------------------------------------|------|---------------------------------------------|-------|
| <input type="checkbox"/> インタフェース…………… | 表2対向 | <input type="checkbox"/> ソフト・リサーチ・センター…………… | 前付最終上 |
| <input type="checkbox"/> オーム社…………… | 目次前 | <input type="checkbox"/> 日立製作所…………… | 表4 |
| <input type="checkbox"/> 京都大学 ICT イノベーション2007…………… | 同封 | <input type="checkbox"/> 三菱電機…………… | 表3 |

すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ お名前	_____		
勤務先	_____ 所属部署		
所在地	〒 _____)		
	TEL (_____)	-	FAX (_____)
ご専門の分野	_____		



お問合せ・お申込み・資料請求は
広告総代理店 (株) 精機通信社

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 (社) 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20～50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

●●● 賛助会員 (10～19口)



株式会社NTTデータ
(株) NTT データ

Google

グーグル (株)



NTTコムウェア
NTTコムウェア (株)



(株) NTT ドコモ



日本電信電話 (株)

Microsoft

マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3～9口)

OKI

沖電気工業 (株)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立アドバンスデジタル

Panasonic
ideas for life

松下電器産業 (株)

●●● 賛助会員 (2口)



(株) KDDI 研究所



NTT アドバンステクノロジー
(株)

Canon

キヤノン (株)



(株) 言語工学研究所



三協印刷 (株)

SANBI

三美印刷 (株)



鉄道情報システム (株)



東北電力 (株)



日本インターシステムズ(株)



日本ビクター (株)



日本放送協会放送技術研究所

インテル (株) / キーウェアソリューションズ (株) / (株) 数理計画 / (株) デンソー / (株) メディアフラッツ

【A～Z】

(株) CIJ
 (株) CSK システムズ
 (株) FFC
 (株) HBA
 HOYA(株)
 ITエンジニアリング(株)
 JRCエンジニアリング(株)
 (株) KDDI 研究所
 MHI エアロスペースシステムズ(株)
 NEC インフロンティア(株)
 NEC システムテクノロジー (株)
 (株) NEC 情報システムズ
 NEC ソフト(株)
 NEC ソフトウェア東北(株)
 NEC フィールドイング(株)
 NTT アドバンステクノロジー(株)
 NTT コムウェア(株)
 NTT ソフトウェア(株)
 (株) NTT データ
 (株) NTT データ関西
 (株) NTT データ九州
 (株) NTT データ中国
 (株) NTT データ東海
 (株) NTT データ東北
 (株) NTT ドコモ
 NTT 横須賀研究開発センター
 (株) PFU
 (株) QLC
 (株) SRA
 TIS(株)
 (株) UFJ 日立システムズ

【あ行】

アートシステム(株)
 アイアンドエルソフトウェア(株)
 (株) アイヴィス
 (株) アイ・エス・ピー
 アイシン精機(株)
 (株) アイズファクトリー
 (株) アイネス
 アイビーシー(株)
 (株) 旭リサーチセンター
 (株) アドバンス・メディア
 (株) アライドテレシス開発センター
 (株) アルゴ21
 (株) アルファシステムズ
 池上通信機(株)
 (学) 岩崎学園情報科学専門学校
 新横浜校
 岩崎通信機(株)
 (株) インタースコープ
 インダストリアルソフト(有)
 (株) インタフェース
 (株) インテック
 インテル(株)
 (株) インフォシティ
 (株) ヴァル研究所
 (株) エクサ

(株) エスケーエレクトロニクス
 (株) エデュケーショナルネットワーク
 (株) エスジェーケー
 エヌ・ディー・アール(株)
 エヌ・ティ・ティ・データ・クリエイション(株)
 オークマ(株)
 (株) 大塚商会
 (株) オーム社
 沖ソフトウェア(株)
 沖通信システム(株)
 沖電気工業(株)
 (株) 小野仁
 オムロン(株) 京阪奈イノベーションセンター
 オムロンソフトウェア(株)
 オリパスソフトウェアテクノロジー(株)

【か行】

独立行政法人科学技術振興機構
 カスタム・テクノロジー(株)
 (財) 画像情報教育振興協会
 (学) 片柳学園日本工学院専門学校
 (学) 片柳学園日本工学院八王子専門学校
 カテナ(株)
 関西電力(株)
 関電システムソリューションズ(株)
 キーウェアソリューションズ(株)
 (財) 機械振興協会
 キヤノン(株)
 キヤノン(株) 研究推進課
 キヤノンソフトウェア(株)
 (財) 九州システム情報技術研究所
 九州電力(株)
 共立出版(株)
 近畿日本鉄道(株)
 ゲーグル(株)
 (財) 釧路根室圏産業技術振興センター
 (株) 言語工学研究所
 原電情報システム(株)
 (株) コア 中四国カンパニー
 (株) 構造計画研究所
 (株) 高知電子計算センター
 (株) 国際電気通信基礎技術研究所
 国土館大学情報科学センター
 独立行政法人国立印刷局研究所
 国立国会図書館
 コニカミノルタテクノロジーセンター(株)
 (株) コミュニチュア

【さ行】

(株) サイエンスハウス
 (株) サイエティア
 (株) サイクス
 サクサ(株)
 サクシード(株)

三協印刷(株)
 (株) 産業開発機構
 産業図書(株)
 三美印刷(株)
 サン・マイクロシステムズ(株)
 三洋電機(株)
 三洋電機(株) デジタルシステム研究所
 (株) シーエーシー
 (株) ジーダット
 (株) ジェイアールシステム・エンジニアリング
 (株) ジェイアール東日本情報システム
 (株) ジェイティービー
 (株) ジェーエムエーシステムズ
 四国電力(株)
 システム・オートメーション(株)
 (株) システムラボ
 シチズン時計(株)
 シャープ(株) 技術本部
 シャープ(株) 通信システム事業本部
 (株) ジャステック
 (株) ジャストシステム
 (株) ジャパンテクニカルソフトウェア
 (財) 情報科学国際交流財団
 (社) 情報サービス産業協会
 (財) 情報処理相互運用技術協会
 (株) 新社会システム総合研究所
 新日鉄ソリューションズ(株)
 (株) 数理計画
 住商情報システム(株)
 住友電気工業(株)
 (株) 先端力学シミュレーション研究所
 セントラル・コンピュータ・サービス(株)
 (株) 全農ビジネスサポート
 (株) 創夢
 ソニーグローバルソリューションズ(株)
 (株) ソフトウェアコントロール
 (財) ソフトウェア情報センターソフトウェア特許情報センター
 (財) ソフトピアジャパン
 ソラン(株)

【た行】

(株) ダイナックス高松
 大和ハウス工業(株)
 拓殖大学
 (株) 中央コンピュータシステム
 中国電力(株)
 (株) 中電シーティーアイ
 中部電力(株)
 中部日本電気ソフトウェア(株)
 通研電気工業(株)
 (株) ディーアンドエムホールディングス
 ティーディーシーソフトウェアエンジニアリング(株)

テービーテック(株)
 デジタルプロセス(株)
 鉄道情報システム(株)
 (財) 鉄道総合技術研究所
 (株) テブコシステムズ
 (株) デュオシステムズ
 (株) 電産
 (社) 電子情報技術産業協会
 (株) デンソー
 (株) デンソー IC 技術1部
 (株) デンソーアイティーラボラトリ
 (株) デンソークリエイト
 (財) 電力中央研究所
 東海ソフト(株)
 東海旅客鉄道(株)
 東京電力(株)
 東光(株)
 (株) 東芝
 東芝システムテクノロジー(株)
 東芝情報システム(株)
 東芝ソリューション(株)
 東芝テック(株)
 東芝電力システムテクノロジー(株)
 東芝プロセスソフトウェア(株)
 東芝マイクロエレクトロニクス(株)
 東芝メディカルシステムズ(株)
 (学) 東都学園東都コンピュータ専門学校
 東北電力(株)
 東北電力(株) 研究開発センター
 (株) 東和システム
 特許庁
 凸版印刷(株)
 トッパン・フォームズ(株)
 (株) トヨコムシステムズ
 (株) トヨタコミュニケーションシステム
 トヨタ自動車(株)
 (株) 豊田中央研究所

【な行】

(学) 中西学園名古屋学芸大学短期大学部
 名古屋学院大学
 (株) ニコン
 (株) ニコンシステム
 日興システムソリューションズ(株)
 日商エレクトロニクス(株)
 ニッセイ情報テクノロジー(株)
 日鉄日立システムエンジニアリング(株)
 日本アルゴリズム(株)
 日本コムシス(株)
 日本事務器(株)
 (株) 日本情報システムサービス
 日本電気(株)
 (株) 日本電気特許技術情報センター
 日本アイ・ピー・エム(株)
 日本インターシステムズ(株)

- | | | | |
|-------------------|----------------------|-------------------|-------------------|
| (社)日本化学会 | ケーションズ(株) | 富士通関西中部ネットテック(株) | 松下電器産業(株)コーポレート |
| (株)日本科学技術研修所 | パナソニックMSE(株) | (株)富士通長野システムエンジン | R&D戦略室(東京) |
| 日本銀行 | パナソニック四国エレクトロニクス | アリング | 松下電器産業(株)パナソニック |
| 日本原子力研究開発機構 | (株) | (株)富士通九州システムエンジン | AVC ネットワークス社 |
| 日本航空電子工業(株) | (株)ピー・エイチ・イー | アリング | (株)松下電器情報システム名古屋 |
| 日本情報通信コンサルティング(株) | (株)ピーコン インフォメーション | (株)富士通南九州システムエンジ | 研究所 |
| 日本信号(株) | テクノロジー | ニアリング | (株)松下電器情報システム広島研 |
| (株)日本総研ソリューションズ | ピーコンシステム(株) | 富士通サポートアンドサービス | 究所 |
| 日本テクトロニクス(株) | (株)ピクセラ | (株) | 松下電工(株) |
| 日本電子計算(株) | 日立アイ・エヌ・エヌ・ソフトウェア(株) | (株)富士通四国システムズ | マツダ(株) |
| 日本電信電話(株) | (株)日立アドバンスデジタル | (株)富士通中国システムズ | 三井情報開発(株) |
| (株)日本トラフィックコンピュー | (株)日立エイチ・ピー・エム | (株)富士通中部システムズ | 三菱スペース・ソフトウェア(株) |
| ターセンター | (株)日立国際電気 | (株)富士通東北システムズ | 三菱電機(株) |
| 日本ビクター(株) | (株)日立システムアンドサービス | (株)富士通北陸システムズ | 三菱電機インフォメーションシステ |
| 日本ヒューレット・パッカード(株) | (株)日立情報システムズ | (株)富士通ソーシャルサイエンス | ムズ(株) |
| ヒューレット・パッカード研究所 | (株)日立情報制御ソリューション | ラボラトリ | 三菱電機コントロールソフトウェア |
| (財)日本品質保証機構 | ズ | 富士通テン(株) | (株) |
| 日本放送協会 放送技術研究所 | (株)日立製作所 情報・通信グループ | フジテック(株) | 三菱電機メカトロニクスソフトウエ |
| 日本無線(株) | (株)日立製作所 東北支社 | 船井電機(株) | ア(株) |
| 日本ユニシス(株) | (株)日立製作所 システム開発研 | フューチャーシステムコンサルティ | 三菱プレジジョン(株) |
| 日本ユニシス・ソリューション(株) | 究所 | ング(株) | 武蔵野美術大学 |
| (株)日本旅行 | (株)日立製作所 情報通信グループ | ブラザー工業(株) | (株)メディアフラッツ |
| (株)ニューメディア総研 | 情報システム本部 | (株)ブリヂストン | 森長電子(株) |
| ネクストコム(株) | (株)日立製作所 中央研究所 | (株)ブリッジ | |
| ネクストソリューション(株) | (株)日立製作所 中国支社 | 古野電気(株) | 【や行】 |
| (株)ノス | 日立ソフトウェアエンジニアリング(株) | (株)プロアシスト | |
| (株)野村総合研究所 | (株)日立中国ソリューションズ | 北陸電力(株) | ヤフー(株) |
| | (株)日立テクニカルコミュニケー | 北陸日本電気ソフトウェア(株) | ヤマトシステム開発(株) |
| | ションズ | (株)北海道ジェイ・アール・システ | ヤマハ(株) |
| | (株)日立ハイテクサイエンスシステ | ム開発 | 横河情報システムズ(株) |
| | ムズ | (株)堀場製作所 | 横河電機(株) |
| | (株)日立東日本ソリューションズ | | |
| | (株)ファースト | 【ま行】 | 【ら行】 |
| | (株)フォーカスシステムズ | マイクロソフト(株) | リードエグジビションジャパン(株) |
| | (株)フジキカイ 名古屋工場 | 松下電器産業(株)コーポレート | (株)リコー |
| | 富士通(株) | R&D戦略室(大阪) | |
| | 富士通アクセス(株) | | |

【は行】

- パイオニア(株)技術開発本部
 パイオニア(株)技術開発本部シ
 テム研究センター
 萩原電気(株)
 パナソニック コミュニケーションズ
 (株)
 パナソニック モバイルコミュニ

◻◻ 協力協定締結学会との正会員会費割引について ◻◻

各学協会との協定により、正会員会費が割引になります。ぜひ、ご活用ください。
 本会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/06mcm/kaikin/kyoryoku.html>) にも掲載しております。

●協力協定学会名・割引率(当会の正会員対象)

ACM	(Association for Computing Machinery)	20%
IEEE	(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	10%
CSI	(Computer Society of India)	20%
ASTI	(Association Francaise des Sciences et Technologies de l' Information)	10%

※協力協定学会の会員費割引については、海外関連団体 (<http://www.ipsj.or.jp/03somu/kanrenlink/kanrendantai/kanren/kaigaikanren.html>) をご参照いただき、直接お問い合わせください。

●本会会費割引率

正会員費 10% (協力協定学会の正会員対象)

【申請方法】 会費割引を希望する正会員の方(これから入会する方を除く)は、その旨を協力協定締結各学会正会員の会員証コピーを添付(Fax可)のうえ、下記照会先に申請してください。各学会への照会後に適用となります。割引適用は1学会分といたします。

※これから入会を希望する方は、入金金免除を受ける方法 (<http://www.ipsj.or.jp/06mcm/nyukai/nyukaikinmenjo.html>) をご参照ください。

■照会先: 会員サービス部門 E-mail:mcm@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8370 Fax(03)3518-8375